

一関工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	経済学
科目基礎情報					
科目番号	0114		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	未来創造工学科 (一般科目)		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教科書は使用しない。適宜資料などを配布する。				
担当教員	平林 一隆				
到達目標					
初歩的な経済学に関する知識を取得する。基本的な経済学説を理解する。人類社会における経済成長の意味を広く理解する。 【教育目標】B・F 【学習・教育到達目標】B-1・B-2・F-1					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)	
基本的な経済学説を理解し、人類社会における経済成長の意味を広く理解する。		基本的な経済学説を十分に理解し、人類社会における経済成長の意味を大変広く理解する。	基本的な経済学説を理解し、人類社会における経済成長の意味を広く理解する。	基本的な経済学説を理解せず、人類社会における経済成長の意味を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育目標 B 教育目標 F					
教育方法等					
概要	複雑な経済現象の運動原理を学び、経済関係の本質を理解する。また、経済発展の国際間の相違を理解し、経済成長や豊かさについての歴史や文化による価値観の違いも理解する。同時に社会科学的な減少のとりえ方考え方を学ぶことで、自然科学との相違点および共通点を考え、科学全般に通じる科学的思考の方法論を理解する。				
授業の進め方・方法	教科書は使用しない。各自、講義ノートをしっかり作成すること。関連事項について、参考文献を各自参照するように心がけること。参考文献は授業で提示する。				
注意点	【事前学習】 事前に参考文献がどのような項目を扱っているか確認すること。状況により事前に調べておくことを指示する。 【評価方法・評価基準】 試験結果(100%)で評価する。詳細は第1回授業で告知する。初歩的な経済学に関する知識、基本的な経済学説の理解、人類社会における経済成長の意味を広く理解する程度を評価する。 総合成績60点以上を単位修得とする。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
選択必修					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	経済学の対象と方法	経済活動の定義を理解できる。	
		2週	経済史と経済学説	社会科学および経済学の学問上の特質を理解できる。	
		3週	資本主義以前の経済史①	経済制度の歴史の概観や、その自然的・文化的背景が理解できる。	
		4週	資本主義以前の経済史②	経済制度の歴史の概観や、その自然的・文化的背景が理解できる。	
		5週	資本主義の成立と特徴①	資本主義の成立条件と、他の経済制度と異なる特徴が理解できる。	
		6週	資本主義の成立と特徴②	資本主義の成立条件と、他の経済制度と異なる特徴が理解できる。	
		7週	アダム＝スミスの資本主義観①	アダム＝スミスの資本主義観を理解できる。	
		8週	アダム＝スミスの資本主義観②	アダム＝スミスの資本主義観を理解できる。	
	2ndQ	9週	リカード・マルサス論争と資本主義における経済成長①	三大階級への分配と経済成長に関する経済学的観点の相違を理解できる。	
		10週	リカード・マルサス論争と資本主義における経済成長②	三大階級への分配と経済成長に関する経済学的観点の相違を理解できる。	
		11週	資本主義における矛盾の拡大とマルクスの資本主義観①	資本主義の発展と矛盾について理解できる。	
		12週	資本主義における矛盾の拡大とマルクスの資本主義観②	資本主義の発展と矛盾について理解できる。	
		13週	資本主義における矛盾の拡大とマルクスの資本主義観③	資本主義における再生産構造と矛盾拡大の関係について理解できる。	
		14週	資本主義における矛盾の拡大とマルクスの資本主義観④	資本主義における再生産構造と矛盾拡大の関係について理解できる。	
		15週	期末試験		
		16週	試験の解説、内容のまとめ、補足		
後期	3rdQ	1週	限界革命と新たな市場理論①	効用価値説および限界学派の基礎理論を理解できる。	
		2週	限界革命と新たな市場理論②	効用価値説および限界学派の基礎理論を理解できる。	
		3週	限界革命と新たな市場理論③	効用価値説および限界学派の基礎理論を理解できる。	
		4週	資本主義発展の国際間での相違 世界大戦と資本主義における帝国主義①	独占資本の市場への影響を理解できる。 帝国主義政策とその背景について理解できる。	
		5週	資本主義発展の国際間での相違 世界大戦と資本主義における帝国主義②	独占資本の市場への影響を理解できる。 帝国主義政策とその背景について理解できる。	

4thQ	6週	資本主義発達の国際間での相違 世界大戦と資本主義における帝国主義③	独占資本の市場への影響を理解できる。 帝国主義政策とその背景について理解できる。
	7週	世界恐慌とケインズ政策①	世界恐慌が経済学説に与えた影響と、ケインズ政策の理論的根拠を理解できる。
	8週	世界恐慌とケインズ政策②	世界恐慌が経済学説に与えた影響と、ケインズ政策の理論的根拠を理解できる。
	9週	世界恐慌とケインズ政策③	世界恐慌が経済学説に与えた影響と、ケインズ政策の理論的根拠を理解できる。
	10週	資本主義におけるイノベーションとシュンペーターの資本主義観①	シュンペーターの産業循環に関する見地と資本主義観を理解できる。
	11週	資本主義におけるイノベーションとシュンペーターの資本主義観②	シュンペーターの産業循環に関する見地と資本主義観を理解できる。
	12週	第二次世界大戦後の世界と新たな経済問題	第二次世界大戦後の世界経済の変化が理解できる。
	13週	マネタリストの資本主義観	マネタリストの資本主義観を理解できる。
	14週	資本主義の現代的課題	資本主義の現代的課題を理解できる。
15週	期末試験		
16週	試験の解説、内容のまとめ、補足		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的理解	50	0	0	0	0	0	50
応用的思考	30	0	0	0	0	0	30
総合的思考	20	0	0	0	0	0	20